

栃木県教育長
阿久澤 真理 様

第三期県立高等学校再編計画（案）
に関する緊急要望

栃木県市長会

第三期県立高等学校再編計画（案）に関する緊急要望

第三期県立高等学校再編計画の策定につきましては、5月の市町村長会議におきまして説明をいただきましたが、その際に複数の市町長から意見が出され、また、再編計画（案）公表後の7月18日開催の市長会議におきましても多様な意見が出されたところであり、非常に関心の高い課題であります。

高校は子供たちの将来の進路を大きく左右する教育機関であり、生徒・保護者等にとって大きな影響を与えるものであります。

さらに、各市におきましては、教育機関という位置づけに留まらず、まちづくりや経済産業、雇用、文化、地域活性化など広範な分野に大きな影響を与える価値ある存在と認識しており、再編計画は生徒数の減少面のみを捉えるのではなく、総合的な視点から検討すべき課題であると考えております。

つきましては、第三期県立高等学校再編計画の策定にあたりましては、以上のような視点も踏まえ、総合的に検討いただくよう、次の事項を要望いたします。

記

- ・ 高校の統廃合の検討にあたっては、高校は人口流出の抑制や若年層の活動人口の増加、持続可能なまちづくりに向けた周辺地域の活性化に不可欠であるため、各地域において高校が果たす役割を踏まえ検討すること
特に、栃木県の約4分の1の広大な面積を有する日光地域において、高校を1つに統合する再編案については、日光市や関係団体など、地域と十分に協議・調整すること
- ・ 職業系専門高校については、現在の学科やコースにおいて専門的な知識や技術を身に付け、地域の産業振興に寄与する人材を輩出する役割を担っており、その再編にあたっては、それぞれの分野における専門性のある教育課程を確保すること
特に介護福祉の従事者は、現在も県内で不足する状況であり、卒業後に介護福祉士国家試験の受験資格を取得できる介護福祉科を、県内バランスに配慮し、県央地域に存続させること
- ・ 再編する高校の校地選定や施設整備等にあたっては、生徒・保護者等の不安を払拭できるよう、地域住民や関係市町の意見を踏まえた調整を行うこと

- 再編する学校の学科やコース、教育課程などについては、生徒の学校選択への影響を考慮し、生徒・保護者等へ早期かつ確実に周知すること
- フレックス・ハイスクールや単位制高校などの設置にあたっては、中学校卒業後の高校進学における進路選択の幅を広げ、生徒が主体的に適切な学校選択ができるよう、各市町教育委員会と緊密に連携し、各高校の特色を一層周知すること
- 後期計画の実行計画を含め、今後、高校再編を検討する際には、地元企業に多くの卒業生が就職するなど、地域に根差した学校づくりを行っている高校が過疎指定地域等の持続的発展のために大きな役割を担っていることを考慮し、事前に関係市町と十分な意見交換を行うこと

令和5年8月28日

栃木県市長会長 佐藤 栄 一